

第71号
2011年1月

風

発行

群馬県生協連女性協議会
群馬県前橋市大手町3-19-3

「風」はホームページでもご覧いただけます
<http://gunma.kenren-coop.jp/>
Eメール: mail@gunma.kenren-coop.jp



新年を迎えて

群馬県生協連女性協議会
会長 林 かの子

明けましておめでとうございます。

昨年は、女性協の活動にご協力いただき誠にありがとうございました。新年を迎え皆様には笑顔で過ごせるような事がありましたでしょうか？なかなか明るい話題が見つからない日々が続きます。

さて、私は昨秋、どうしても観ておきたいものがあり、久し振りに映画館へ出かけました。「冬の小鳥」という韓国が舞台の作品です。父親に置き去りにされた少女が過ごす養護施設での日々が物語られ、すぐれた作品と出会えた充足感に浸りながら帰路に着きました。

それから、日々のニュースを聞く度、スクリーンに映ったあの少女の抱えきれない苦悩や孤独と重なってきます。

就職の決まらない若者が・職場での孤独な若者が・職場を追われた若者が・愛される事のない小さな人達が・一人でひっそりと耐える老人が・明日の暮らしを心配する多くの人達が、静かにしかし深く苦しみの呻き声を上げているように思えます。

何とか、もっと笑顔で暮らせる社会をと願わずにはいられません。誰もが安心して、気持ちよく暮らせる社会に近づけるためには、皆さんの課題に対する「気づき」と「意志」が大きく関わってくるような気がします。最近、男女共同参画社会実現のために生協が果たす役割を考える時、よく思い出す歌があります。何十年も昔、有線放送（共同電話）から流れたような気がします。" 苦しい時には見つめてみよう…と始まり…一人だけが苦しいんじゃない…話してみようよ語り合おうよ積もりつもった胸の内を…と結びます。"

女性協では今年も学習や交流に取り組みます。本年もよろしくお願い致します。



JAぐんま女性組織協議会との交流会を開催

11月25日(木)

「おふくろ亭」でJA赤城たちばなと女性部の役員の方々と交流



11月25日(木)、女性協ではJA赤城たちばなの「あぐりハウスおふくろ亭」において交流会を開催しました。交流会にはJAぐんま女性組織協議会、JA赤城たちばな及び同JA女性部、おふくろ亭、県連女性協のほか、JA赤城たちばな角田俊寿組合長、JA群馬中央会斉藤尚登経営組織部長、各事務局職員など32名が参加しました。交流会は3団体の活動報告、「あぐりハウスおふくろ亭」の設立・運営についての報告のあと、意見交換をおこないました。各団体とも男女共同参画の先頭に立って活動されている力強さを感じ、ますます連帯を深めた活動にしたいと思いました。(秋山ユミ子：編集委員・生活クラブ生協)

おこないました。各団体とも男女共同参画の先頭に立って活動されている力強さを感じ、ますます連帯を深めた活動にしたいと思いました。(秋山ユミ子：編集委員・生活クラブ生協)



(左) 定休日の「おふくろ亭」を借り切った交流会(挨拶は林かの子会長)
(上) 左からJAぐんま女性協齋藤正江会長、JA赤城たちばな、角田俊寿組合長、同JA女性部鳥山薫部長

参加した運営委員の感想をご紹介します。

あぐりハウス「おふくろ亭」で気付いたこと

下田るり子(運営委員：全労済群馬県本部)

11月25日、渋川市赤城町「おふくろ亭」を訪問させていただきました。



設立の経過や運営について話す
「おふくろ亭」代表の角田早苗さん

男女共同参画、地産地消などの言葉が、良く聞かれる昨今ですが、私の中に、これがという具体的なイメージは、ありませんでした。ここに参加して、角田早苗さん達のお話を聞くうちに、初めて女性たちの起業の姿、生産者が提供する安全安心な食事の大切さがわかった気がします。多数の方々が語って下さったことばによって、その思いも強く伝わってきました。いただいた昼食の豚カツ定食や、おみやげに買った角煮まんが、とてもおいしかったことは、もちろんです。

「女性は経営的自立」「男性は生活の自立」というスローガンですが、我が家は旧態然とした有様です。せめて、いろいろな実践例に接して、少しずつでも変わっていきなさいなと考えています。



赤城ポークのとんかつ定食

角田さんのお話は私の悩みに応えてくれました

割田久美子(運営委員：コープぐんま)

交流会を開催して頂いて、ありがとうございました。

組合員活動という共通な活動を行なっているのですから、「相手を知ることがとても大切」ということがわかりました。そして、とてもためになりました。

またおふくろ亭の角田さんの私生活を含めた赤裸々な話は、まさしく私の悩みに答えて頂いた内容でしたので、とてもありがたいお話でした。お世話になりました。

ぐんま男女共同参画センターを訪問

12月8日(水)

本田悦子所長からセンターの役割や事業について説明を聞きました

誰もが尊重され、その人に合った生き方をしていける社会をめざして活動している県生協連女性協議会では、12月8日に「ぐんま男女共同参画センター」を訪問しました。

県庁の西隣にあるその建物は、以前には議員会館として県議会議員の方々利用、宿泊できる施設でしたが、平成21年5月に建物内部を全面リニューアルし、現センターとしてオープンしました。

このセンターは男女共同参画社会づくりに向けた事業、活動等を推進するための総合的な活動拠点となっています。

『男女の性別に関係なく、個人の考え方や生き方が尊重され、その



人の能力が十分に発揮できる男女共同参画社会に向けて、学んだり、交流する場にしてもらいたい』と、所長の本田悦子さん(写真)からお話がありました。

利根川に沿って建てられているため、景色のよい研修室や和室などもあり、使用料も大変手頃で、集まるにはとても良い環境です。

センター内には「女性相談センター」

も入っており、DVなどの相談にも応じるとのことです。多くの人に知らせたい頼りになる場所をひとつ発見することができました。(清野紀美子：編集委員・コープぐんま)

地連の男女共同参画懇談会に参加

11月11日(木)

DVの実態と防止について報告を聞く……「知ること、知らせること」

11月11日(木)、今年2回目となる中央地連男女共同参画懇談会が、22生協(都県連含む)72名の参加で開催されました。今回は『どんな事がDVになるのかーDVの実態と防止について』という内容で、内閣府男女共同参画局の報告と弁護士川島志保さんの講演が中心となりました。

DVとは女性の人格に対するあらゆる侵害であり、刑罰に触れるケース(暴行罪、傷害罪)はその一部にすぎないこと、見えない暴力・モラルハラスメントの方が多く、それらは外部からの発見が困難であること、更に解決に繋がる相談窓口を知らない人が7割もいること、加害者には人間関係の基本『平等』が身に着いておらず、自分の幸せのために相手への支配とコントロールを繰り返すので、個人的解決はほぼ無理であることなどが語られました。女性10人のうち2.5人が被害者であり“他人ごとではない”ことを理解し、『生協でも取り組みを』と結ばれました。

男女共同参画社会の実現を妨げる暴力の実態を知り、人格(人権)を守るために生協で取り組めること(学習・広報・人と人のつながりなど)を考える懇談会となりました。

DV相談ナビ

自動音声のガイドに従って電話機のボタンを操作していけば、最寄りの相談窓口の名称や電話番号などを知ることができます。



ここに電話

0570-0-55210

- ・通話料がかかります
- ・PHS、一部のIP電話からはかかりません。



林かの子(女性協会長：県連理事)

お知らせ

消費者まつり

2011年

2月27日(日) 10時～15時

県庁県民ホール・県ギャラリー・ビジターセンター

暮らしに役立つ情報がいっぱい。食育や健康について消費者の皆さんと一緒に考えます。
パネル展示や試食・販売コーナー、健康チェックコーナーなど、盛りだくさんの企画をご家族みなんでお楽しみいただけます。

- **コープ商品の試食・販売コーナー**
コープ商品の良さを知って生協を暮らしに生かしましょう
- **医療生協の健康チェックコーナー**
血圧・体脂肪・骨密度の測定や医師の健康相談ができます。
- **環境と暮らしを考えるコーナー**
- **保障の見直し・相談コーナー**
- **食育コーナー**
バランスのよい食事は元気のもと。食育を始めませんか。
- **男女共同参画を考えようコーナー**



第2回

心も体も元気になれる

私の健康

健康は何よりも大切！『私の健康』と題して色々な話題をシリーズで紹介しています。いろんな人の様々な健康法を取り上げていきます。皆さんからの投稿もお待ちしています。

マイペースなマラソンでダイエット by Kaori Koshikawa

群馬の正月元旦といえば「ニュー・イヤー駅伝」 県庁をスタートし市街地を走る傑出したランナー達。私も沿道で旗を振って応援した事があります (^_^) / 近年マラソンブームで皇居周りではマラソンランナーによる人の渋滞が問題になっているとか・・・

健康ブームから火が付いたスポーツで誰もが気軽に参加できることから群馬でもいくつか一般向けのマラソン大会が大人気！！マラソンは継続的に行えばウォーキングより脂肪燃焼は効率的。



マラソンで消費するカロリーは **体重 (kg) × 走る距離 (km)** となります。
● 例) 体重50kgの人は **50kg × 2km = 100kcal**

たったこれだけ？と思うかもしれませんが、走る=筋肉量が増える=基礎代謝が上がる=もっと体重を減らす事も可能！ (^_^) ! 嬉しい事に走るスピードは消費カロリーに関係ないので、マイペースでOK

心配なのは膝が痛くならないか??

- ・膝が痛くなった時 ⇒膝そのものの痛みで無い事がほとんど
痛みの原因は左右のバランスの悪さからくるもの
- ・対処法 ⇒膝の痛む箇所を明確にし筋肉を骨に沿って足首までマッサージ
(完全に治るという事ではありません)

食事は和食中心で腹八分目、甘い物がやめられない時は洋菓子から和菓子に変えて！



さあ、今年はマラソンでダイエット始めてみませんか？